

9月末の人口  
 世帯数 589世帯  
 男 763人  
 女 769人  
 計 1,532人  
 (馬路 1,065人)  
 (魚梁瀬 467人)

広報  
 うまじ

昭和62年9月30日発行  
 第一二四号  
 編集 馬路村教育委員会  
 発行 馬路村教育委員会  
 印刷 安芸印刷



↑馬路おしどりマラソン大会(9月20日・コミュニティセンター馬路)

わかちあう幸せ

10月1日~12月31日

赤い羽根共同募金運動



10月1日から、恒例の赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まります。村民の皆様の温かいご支援とご理解をいただき、募金の目標を達成したいと思っていますので、よろしくお願いします。

本年度も、昨年同様、一世帯あたり850円となります。

本年も例年のように、各部落の奉仕者の方々が戸別募金にお伺いしますので、その節はよろしくお願いします。

# 今月のスポット

## 《《《 7 月 》》》

- 1～2日 ちぎり絵教室
- 4～5日 魚梁瀬PTA研修旅行（室戸少年自然の家）
- 8日 俳句教室（日浦会館）
- 9日 魚梁瀬婦人学級（魚梁瀬公民館）
- 10日 村内校長会（魚梁瀬中学校）
- 11日 魚梁瀬婦人学級（野外）
- 17日 安芸郡市指導事務担当者会（就改センター）
- 19日 子供相撲大会（魚梁瀬体育館）
- 21～8月3日 馬路地区部落対抗ソフトボール大会
- 22日 中芸高校地区懇談会（就改センター）
- 25～26日 馬路PTA親子キャンプ（魚梁瀬旅行村）
- 26日 フェスティバル魚梁瀬
- 26日 第二回馬路村鮎友づくり選手権大会
- 26日 奈半利川いかだ下り
- 28～30日 ちぎり絵教室
- 31日 馬路家庭教育学級（就改センター）

## 《《《 8 月 》》》

- 2日 中芸消防大会（馬路村民運動場）
- 6日 魚梁瀬高齢者教室（魚梁瀬運動場）
- 6日 魚梁瀬婦人学級（魚梁瀬運動場）
- 7日 俳句教室（就改センター）
- 9日 馬路家庭教育学級（就改センター）
- 13日 歌って走ってキャラバンバン（馬路体育館）
- 15日 馬路温泉まつり（納涼祭）
- 20～30日 親子体操教室5回（馬路体育館）

## 《《《 9 月 》》》

- 2日 選挙管理委員会（就改センター）
- 2日 木の里づくり委員会（へき地集会所）
- 3日 村内中学校水泳交歓会（馬路プール）
- 5日 産業建設常任委員会（就改センター）
- 5日 役場職員研修会（就改センター）
- 5日 中芸地区郵便局長会（就改センター）
- 8日 馬路地区敬老会（コミセン）
- 11日 村内校長会（馬路小学校）
- 12日 馬路高齢者教室（野外）
- 14日 魚梁瀬地区敬老会（魚梁瀬公民館）
- 18日 総務常任委員会・議員協議会（就改センター）
- 20日 第8回馬路おしどりマラソン大会
- 21日 馬路村同和教育研究協議会研修会（就改センター）
- 24～28日 9月定例村議会（就改センター）
- 27日 馬路保、小、中学校運動会（馬路村民運動場）
- 27日 魚梁瀬保、小、中学校運動会（魚梁瀬運動場）
- 27日 第25回県民体育大会

## フォト・フォーカス



↑ 7月19日子供相撲大会



↑ 7月26日奈半利川いかだ下り



↑ 8月9日馬路家庭教育学級



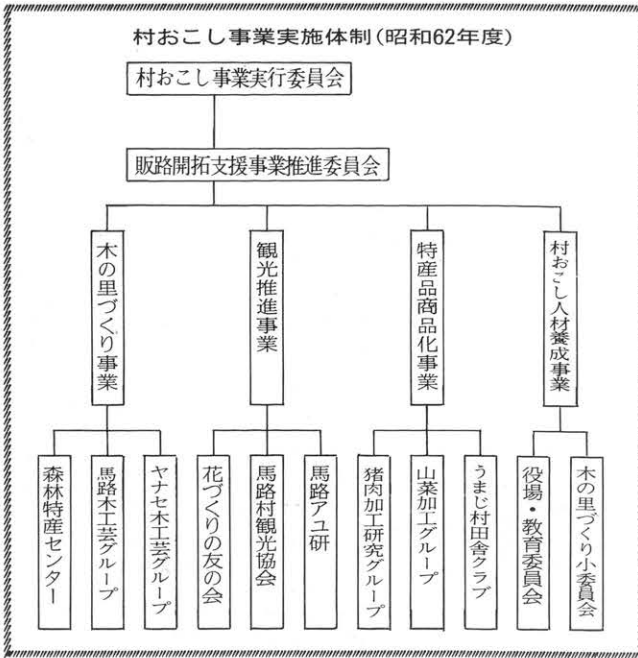
↑ 9月8日・14日敬老会



↑ 9月20日馬路おしどりマラソン大会

村内あちらこちら



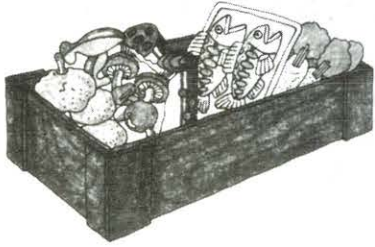


# 夢のある村づくり

## 木の里づくり大学 うまじむら田舎クラブ

馬路村は、昭和五十九年度、「地域小規模事業活性化推進事業」(村おこし事業)の指定をうけ、商工会を中心とした村おこし事業実行委員会を組織し、過疎からの脱却と地域振興に努めています。

実行委員会では、特産品の開発と、コミュニティセンター馬路を核とした観光資源の開発にそれぞれ取り組んできました。本年度事業の計画としては、木の里づくり大学開催事業小委員会を設置し、森林資源を有効に活用した地域づくりのため、木の里づくり大学(村おこし講演会・シンポジウム)を開校し



ます。これは、村おこし人材養成事業の一環として、村民、特に各種団体職員等の村おこしに対しての意識啓発に重点をおいて、村の活性化に努めることを目的としています。

木の里づくり大学は、別表のとおり年六回の開催を計画しています。先進地に多くを学び、効果的なアイデアを生むため、各分野に精通した講師の方を招へいする予定です。

また、うまじ田舎クラブ実行委員会を中心とした「馬路ふるさと小包便」(年三回、八月・十月・十二月)事業も行っています。

馬路村の豊かな自然と特産品を通じ、田舎との心のふれあい交流を深め、未来に向けて夢のある村づくりを進めています。現在田舎クラブでは、第二回目の発注準備に取り掛かっています。

回	月・日	テ	マ	講	師	内	容
1	10月12日	村おこしと産地直送住宅		岐阜県加子母村 中島工務店社長 中島 紀 干		「一に中島、二に村役場」といわれるほどになった。ブランド「東濃ヒノキ」をつかい、現地に運んで組み立て仕上げる。	
2	11月	振興計画と特産品販売会社 (第3セクター名田庄)の設立 =名田庄村の「村おこし」運動から=		国立福井医科大学教授 (元三全総策定計画官) 今 野 修 平		名田庄村の総合振興計画の立案を指導し、第3セクターの販売会社「名田庄商会」をつくり、成果を上げている。	
3	11月	木工芸の取り組み方		高知県大川村木星会代表 川 村 純 史		木星会の現状とこれからの課題	
4	12月	新聞社の目から見た馬路村の 「村づくり」の課題		高知新聞社 政経担当記者 嶋 川 修 一		馬路村は国有林に依存し、村づくりに対しても関心が薄い。外部から見た馬路の問題点等について。	
5	1月	国有林野事業と地域おこし		岐阜県益田郡小坂町長 住 祐 治		国有林の占める割合が高いところで、森林特に国有林を生かした地域づくりに取り組んでいる。	
6	2月	木工芸の村づくり		オークビレッジ代表 稲 木 正		高山に東京からきて木工芸を始め、現在30人を越す人による工芸村をつくっている。	

### 「木の里づくり」シンポジウム

～木を生かす、山を生かす「木の里」をめざし～

63年2月20日(土)

午後1時～4時30分 馬路村就業改善センター

記念講演

パネリスト

交渉中

# 年々華やかに

## 夏の祭典

馬路村の夏の祭典「フェスティバル魚梁瀬」が、七月二十六日、「魚梁瀬納涼祭」が八月十四日、「馬路温泉まつり（納涼祭）」が八月十五日とそれぞれ開催されました。村内外から数多くの観客が詰めかけ、歌や踊りはもとより、楽しい催しに一喜一憂、お祭り気分一色にまつまれました。



↑おそろいのハッピーで馬路婦人会

# フォト ニュース



←実年カップル

## 昼も

↓水上ビックリ大会  
がんばれ一寸法師



←うなぎさん待って

## 夜も ハッスル

↓ビール早飲み女王決定







## 安田川に集う

コミュニティセンター馬路下の安田川河原に河川プール（縦25m・横15m・深さ1.5m）が、今年三月に完成しました。夏休みを迎えた七月の終りごろから、家族、グループのキャンプ客でにぎわっています。このプールは自然を利用しただけに水温はちょっと冷たいが、川よりはずっと泳ぎやすく、子供たちに人気があります。

↑キャンプ・プールでにぎわう安田川



↑倒れないように  
献立はカレーライスです↓

ふるさと

いさいぎ

## 親子でキャンプ

夏休み恒例の親子キャンプが、七月二十五日から二十日にかけて、魚梁瀬旅行村で行われました。これは、自然に親しみ、共同生活を通して協調性を養おうと毎年行っています。各班に分かれ、テントを張った後の野外で食べるカレーライスは、格別の味がしました。





↑ 楽しく健康に

# 高齢者問題意識調査

## にみる 課題 上

ボケになること	36.6
寝たきりになること	34.1
がん、高血圧、心臓病など にかかると	10.6
目、耳が弱っていくこと	7.3
心配していない	4.1
分からない	5.7
無回答	1.6
〔問9〕自分の健康管理について 日ごろどのように心掛けていますか。 (いくつでも○印)	
食事、栄養に気をつけている	48.8
医者にかかっている	39.0
規則正しい生活をする ゲートボールなど スポーツをしている	19.5
定期的に健康診断 を受けている	1.6
漢方薬、保健薬を 常用している	46.3
その他	8.9
特別気にかけていない	2.4
無回答	14.6
〔問10〕老後の生活に目標を 持っていますか。(1つだけ○印)	
持っている	48.8
持っていない	23.6
分からない	24.4
無回答	3.3
副問1 問10で『持っている』と 答えた方に、 それはどのような目標か具体的に。 (2つ以内○印)	
とにかく気ままに 楽しくやりたい	35.0
精神的にゆとりのある 穏やかな生活がしたい	58.3
趣味に打ち込んだ 生活をしたい	26.7
子供や孫と 一緒に暮らしたい	26.7
夫婦だけ(あるいは単身) でのんびり暮らしたい	10.0
ボランティア活動に 残る人生をさせたい	3.3
元気な時にやり残した 仕事を仕上げたい	11.7
信迎ひと筋の生活がしたい	5.0
その他	1.7
無回答	—
〔問11〕老後の生きがいを何に求めて 求めていますか。(3つ以内○印)	
子供や孫の成長	61.8
友人との交流	31.7
旅行	22.0
仕事	22.8
宗教・信仰	11.4

調査対象は大正七年〜昭和元年生まれの村民。調査期間は昭和六十一年五月十六日から三十日までの二週間。教育委員会で配布し、回収(率)は百二十三名(70%)。この調査の目的は、人生八十年時代と言われるその大きな流れの中で、生きがいとは? 夫婦とは? のヒントを探ろうというものです。(今年一月一日に高知新聞に掲載された内容を参考に)

### 質問と回答

数字は%で示してある  
小数点第二位以下を四捨五入したため、合計が100%に過不足する場合がある。複数回答の場合は100%を超える。  
紙面の都合上、一部のみ掲載。

〔問3〕「老人」とは何歳からだと 思いますか。(1つだけ○印)	
60—64歳	4.1
65—69歳	20.3
70—74歳	46.3
75—79歳	10.6
80歳以上	6.5
数字では表せない	8.9
分からない	—
無回答	3.3
〔問6〕あなたが今、不安を感じて いることは何ですか。 (3つ以内○印)	
病気になった時のこと	55.3
配偶者に先立たれる (先立たれた)こと	26.0
生活費のこと	18.7
話し相手がなく孤独なこと	5.7
子供が面倒をみてくれるか どうか分からないこと	13.8
仕事がないこと	11.4
生きがいになるような ものがないこと	3.3
気楽に住める家がないこと	0.8
面倒をみてくれる 身寄りがないこと	1.6
その他	1.6
不安を感じてない	21.1
分からない	8.9
〔問8〕老後の健康でどのような状態 になることを警戒していますか。 (1つだけ○印)	



ボランティア活動	4.1
ランニング	8.1
おこし	2.4
スポーツ	1.6
各種サークル活動	1.6
ギャンブル	2.4
その他	19.5
特にな	4.8
分からない	1.6
無回答	1.6

〔問24〕社会の高齢化が進む中で特に高知は老人県。社会の中で高齢者の果たす役割は。(1つだけ○印)

他人に頼らず、迷惑を	
かけないような生活が	74.8
送れるよう独立する	
生活経験を生かして	8.1
社会の相談相手となる	
家族や親族の	0.8
まとめ役になる	
社会の中で	—
地域のリーダーとなる	
その他	2.4
役割はない	1.6
分からない	3.3
無回答	8.9

## 「老人」とは

昭和四十年から六十年(七万六千二百四十人)にかけて県下の老人クラブ加入者は、ずっと上り階段だったが、六十一年(七万四千三百十二人)は初めて下り階段になった。

なぜ老人クラブの加入者が減ったのか。簡単に言えば「老人」がいなくなった。いや、自らを「老人」と自覚する人が減ったと言った方が正しい。つまり、「元気老人」が増えたわけだ。平均寿命が延び、体力にも自信がある。金銭的に余裕もある

という心のゆとりが老いを遠ざけた。同じ60歳でも現代と三十年前とは大違いである。楽に十歳は若返っている。ただ、その若返り現象が老人クラブ衰退の主な原因なのだから皮肉な話ではある。「老人」の概念の崩壊と言えぬものでは……。今回の意識調査にもその傾向を裏付ける結果が出ている。

意識調査の(問3)「老人」とは何歳からだと思えますか。では、六十歳代が二四・四%、七十歳代が五六・九%、八十歳以上六・五%、数字では表せないも八・九%ありました。

## 不安感



健康への関心の高まり。それは充実した老後確立には健康が不可欠との認識につながる。が、逆に言えば、病気への不安感にほかならない。意識調査でも、それがはっきりと出ている。

意識調査の(問6)あなたが今、不安を感じていることは何ですかの質問に対して、五五・三%が「病気になること(先立たれた)こと二六%、生活費のこと一八・七%と続く。では、お年寄りたちはどんな病気を恐れているのか(問8)では、「ボケになること」三六・六%、「寝たきりになること」三四・一%が一、二位を争い、次いで「がん、高血圧、心臓病になること」の十・六%。がんなど成人病以上に、「ボケ」や寝たきりになることを心配しているといえよう。

## 生活目標

生きがい。ことに長い老後を生きたければならないこれからの時代、生きがいのあるなしがその人の人生を左右する。老人はどう老後を過ごしたいのか。老後の生活に目標を持っているか(問10)に対し、四八・八%の人が目標があると答えて

核家族化と過疎が同時進行する県下では、今後ますます老人世帯が増えることが予想される。もし、自分や配偶者がそうなら——。

調査対象となった人の三九%が「医者にかかっている」という現状を見ると、その不安ももうなげよう。

「定期検診を受けている」も四六・三%と高く、自らの健康管理にも積極的ではあるが、「ゲートボールなどスポーツをしている」が、わずか一・六%であり、積極的な姿勢が今一つ伝わってこない。

老後の体力、それは四十、五十歳代の体力をいかに長く持続させるかにあるだろう。新たな体力は簡単につくものではないだけに、無理は禁物。また、そうしたお年寄りが、安心して体を鍛えることの出来る環境づくりも忘れてはなるまい。

←高齢者教室



次号につづく

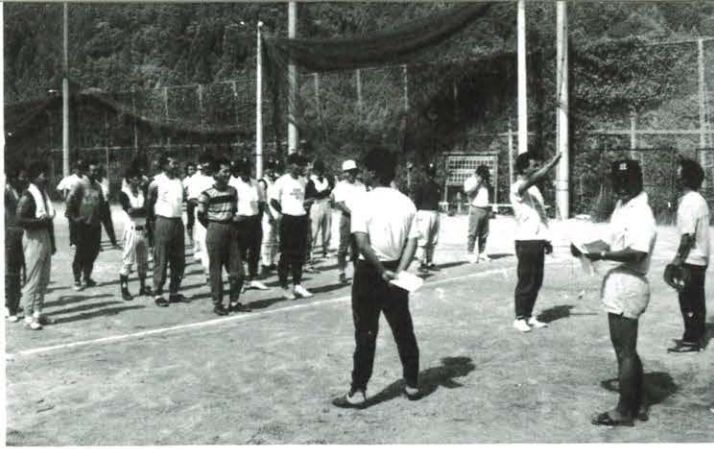
いる。

では、その具体的な目標とは何か(問10副問1)。「趣味」「ボランティア活動」などより、「穏やかな生活」「楽しく気ままに」がともに多くの回答を集めている。つまり、明確な目標というより、心のゆとり、精神的な安らぎを求めているのである。

さらに一歩進めて、老後の生きがいを何に求めているか(問11)。「ボランティア活動」「スポーツ」「各種サークル活動」といった積極派より、こども「子供や孫の成長」が六割以上の支持を集めた。

老後はマイペースでのんびりと——こうした考え方は高齢化社会の中での高齢者の果たす役割(問24)でもはっきりと表れている。「他人に頼らず、迷惑をかける生活をおくれるよう独立する」が七割以上の回答をえた。





←元気に宣誓



打った!! 走った!! 守った!!

・青年交流野球大会・

晴天に恵まれた八月十六日、馬路村青年交流野球大会が、馬路村民運動場で行われました。

この大会は、村内在住の若者と、夏休み、盆休みなどを利用して帰省している青年との交流を深めてもらうと、昨年度初めて開催したところ、多数の参加者があり大好評。

今回の大会には、体育会野球部の現役、OBを始め、高校、大学生など幅広く六チーム・約七十人が参加しました。

開会式では、選手を代表して青年チームの伊場公彦君（18歳）が力強く選手宣誓。そして、畠中教育長の試球式で開幕しました。

第一試合は、熟年チームA、Bによる親善試合です。

Aチーム先発は清岡修雄さん（43歳）で、Bチームの先発は昨年引き続き尾谷昇さん（51歳）でした。初回に点を取り合い乱打戦かみえた試合も、両エースのたんねんにコーナーを攻める投球術に、終盤引き締って五回を無事終了。4対3で熟年Aが接戦をものにした。

第二試合は、青年対成年の対

戦。最終回の表を終わって4対0。青年の楽勝かと思われたのもつかの間、デットボールを交えての連続ヒット。5点をあげる猛攻で、5対4で成年の逆転サヨナラ勝ち。

第三試合は、野球部OB（過去の四国大会出場メンバー）と現役の対戦。大方の予想に反し、OBの山中富雄さん（38歳）の頭腦的なピッチングがさえ渡り現役のランナー二人を出しただけの好投で、7対0でOBが快勝しました。

第四試合青年対熟年は10対9で青年の勝ち、第五試合現役対成年は2対0で現役の勝ち、第六試合OB対成年は4対1でOBがそれぞれ勝ちました。

試合終了後は、長瀬の河原に場所を移し、表彰式と懇親会を行い、なお一層交流を深めました。

個人賞は次のとおりです。

- 最優秀選手賞 山中富雄
- 優秀選手賞 南木修次郎

- 古田克己・山中一茂
- 清岡修雄・古田房夫
- 尾谷 昇・山中理史
- 谷井慎二・笹岡真吾

中芸地区体育大会

3種目に熱戦

スカッシュバレー＝馬路A初優勝



↑馬路スカッシュバレーボール部員

恒例の中芸地区体育大会が八月二十三日に行われ、女子バレーボール、スカッシュバレーボール、男子ソフトボールの三種目に参加しました。

女子バレーボールは、参加五チームと少なく、リーグ戦で行われた結果、田野A、馬路、奈半利の三チームが三勝一敗で並びましたが、惜しくもセット数で新生馬路体育会は、準優勝となりました。

スカッシュバレーボールは、参加十五チームが、四ゾーンに分かれ予選リーグを行いました。予選結果は、魚梁瀬A

二勝一敗、馬路A三連勝、馬路B一勝一敗、馬路C二勝一敗となり敗れました。予選トップの馬路Aは、決勝トーナメントに進出し、安田Dを二対〇、決勝戦では安田Aを同じく二対〇と連破して初優勝を決めました。

敗となりました。

なお、予選で敗れはしましたが、馬路Cでスカッシュ初参加の尾谷昇さんが、チーム内にも良くとけこんで健闘されていました。また、魚梁瀬Aチームも、安田、田野チームを相手に好ゲームを展開、わずかに及ばなかったものの健闘が光りました。

男子ソフトボールは、馬路魚梁瀬両体育会ともに、一回戦で敗退しました。



# 初秋の馬路村に走る

## 第8回 馬路おしどり マラソン大会

初秋の馬路村を、夫婦仲よく走ろうを合言葉に、第八回馬路おしどりマラソン大会が、九月二十日に行われました。ことしの大会には、県下各地から百十五組の夫婦が参加。コミュニティセンター馬路を発着

←初の外人カップル



とする三キロと五キロのコースを、夫婦そろって走り、お互いの健康を喜び合いました。九月の第三日曜日に定着したこの「おしどりマラソン大会」には、ことしも三キロの部百組、五キロの部十五組の夫婦が参加しました。

午前九時三十分から行われた開会式では、大会長の西野真司村長が「ユズ香る杉と温泉の故郷へようこそ。このイベントも村の活性化の一つ。夫婦仲よく走ってください」と歓迎のあいさつ。これにこたえ選手を代表して、今回、初の外人カップルとして参加されたステイブン・ジレットさん(22歳)と奥さんのニーナ・クラッカーさん(23歳)夫婦がアメリカ・カリフォルニア州出身が「夫婦仲よく手を取り合って走ることを誓います」と日本語と英語を交えて宣誓をしました。

午前十時、村長の号砲で百十五組が一斉にスタートし、体力に合わせて元気よく飛び出しました。

途中、農作業の手を休め応援してくれる声に、手を振りのんびりと走る熟年夫婦や、スタートからゴールまで手をつなぎとおして走る若い夫婦など、競走でなく、あくまでもマイペースで完走を目指す、おしどりマラソンにふさわしい光景があちこちで見られました。

約半時間後には、馬路小学校の児童全員による鼓笛隊の演奏に迎えられ、全員が手をつなぎ合ってゴールインしました。

参加者は、温泉で汗を流した後、馬路特産のユズの香りがする弁当を手に、安田川河原など

思い思いの場所へ……。

正午からの閉会式、懇親会では、馬路婦人会、若葉会による歓迎アトラクション、参加者によるカラオケ大会、そして表彰では、思いがけない各賞に参加者は一喜一憂し、親ぼくを深めるとともに、来年の再会を約束しました。

主な各賞は次のみなんです。( )内の数字は夫婦の合計年齢。

▼五回連続完走賞▲

笹岡 保・久子(馬路村)  
山崎省三・キヨ(安芸市)  
寺田竜三・松子(須崎市)

東村俊助・種美 (安芸市)

岩崎清治・弓 (室戸市)

竹村次郎・昌子 (高知市)

井本長治・明子 (高知市)

山中 隆・芳 (馬路村)

小松賢太郎・繁世 (安田町)

中屋隆夫・糸美 (馬路村)

安藤清勝・富与子 (高知市)

▼長寿夫婦賞▲

安藤清勝・富与子 (高知市146歳)

山崎勝利・富 (中村市145歳)

▼熟年夫婦特別賞▲

曾我 稔・秋子 (安芸市133歳)

山田一郎・環 (室戸市133歳)

▼若年夫婦賞▲

山本良二・結実 (高知市47歳)

▼遠隔地参加賞▲

←開会式



西村 弘・美紀 (大豊町)

▼第八回記念・八位賞▲

三ヶ岡崎 光・美世(室戸市)

五ヶ寺岡浅市・愛子(安芸市)

★特別賞(外人カップル初参加)

ステイブン・ジレット

ニーナ・クラッカー

〓中芸地区郵便局賞〓

〒7位入賞(ふみ月)

三ヶ野邑 敷・佐代 (安芸市)

五ヶ細川森義・小夜子(安芸市)

〒23位入賞(ふみの目)

安岡植雄・紀代(安芸市)

〒57位入賞(中芸地区職員数)

入野惣市・まゆみ子(安芸市)

なお、思いがけないで賞は、12組のご夫婦が受賞しました。

# 馬路村の歴史と伝説



〈丸〉

馬路熊野神社 ⑤

馬路公民館長 山中 巖

馬路村では昔から「天の神」の信仰がおこなわれてきました。「天の神」は非常に厳しい神様で、お供えする稲穂は耕作する水田が定められ戸主が田植えから収穫までおこない、またお祭りも戸主でなければなりませんでした。食物は、四つ足のものを肉を食べることは厳しく禁じられていました。お産は母屋ですることは禁じられ、別棟の部屋があてられました。

## 「天の神」の祭神

このように厳しい「天の神」の祭神は、どんな神々であったのでしょうか。

ひと口に言えば、三神如来、七如来です。

三神如来とは、国常立命、伊弉諾命、伊弉册命です。七如来とは、ヒンタラ王、シヤカダラ王、オウゴの如来、万後の如来、天の御崎、地の御崎、おしめの御崎です。ほかに姥神子、日御

子、乙神子、四星、七星、天大將軍、四天二星、稲妻神などの神々も祭神となっております。

なお馬路の東川地区には、地域ごとに「天の神」の祠があります。現在も祭祀がおこなわれています。魚梁瀬地区では、熊野神社の大祭の次第に「御崎祭り」があり、「天の神」は広く、馬路、魚梁瀬両地区ともに信仰されてきたと考えられます。

馬路地区では、相名を中心にして、熊野神社で「天の神もうし」||氏子全員の祭祀||がおこなわれてきました。祭り方は十三年目ごとに執行され、祭日は霜月十五日、十六日であります。その期間に氏子たちはお米やお金をたくわえ、神楽の練習をして次回の準備をととのえたものと思われます。

## 「天の神」の神楽

「天の神もうし」には舞い神楽が奉納されました。神楽には

幣の舞、劍の舞、弓の舞、盆の舞、八男乙女の舞などがあり、太鼓や歌詞にあわせて舞い神楽をたのしみました。また文久年間の記録によりますと、桑の木二本に銭を十二文ずつさして、弓の舞いの時にたたいています。ぶちはヨモギの茎です。

この神楽の特徴は、八男乙女の舞(男女八人)に特にあらわれているように思います。厳しい神様のゆえでありましょうか、女性は月経のない少女、男性は童貞でなければならなかったのです。そして八人の男女が円陣をつくり、神主(天の神の自家)は稲穂を口にくわえ、全員が右手に扇子、左手に神をもって、歌詞、太鼓にあわせてゆっくりと舞います。

歌詞の一部を次に記してみましよう。

おはよう……………ございませ  
おかえり……………なさい  
おやすみ……………なさい  
おつかれ……………さま  
ありがとうございます  
こんにちは  
青少年育成馬路村民会議

天のさな田に  
初めて稲穂を作らせ給えば  
天の長田に  
穂はたれそろうた  
日余の山の御鳥こは  
穂はくくんだりや  
羽根足利タリヤ

このたび半世紀ぶりに復活した「天の神の神楽」を山村に根づいた郷土芸能として末長く伝えたいものです。

**テレビ「3歳児の世界」ご案内**  
昭和62年10月4日～同63年3月27日  
○毎週日曜日  
午前 8:30～ 8:45  
○再放送 毎週木曜日  
午前11:15～11:30  
○制作 高知放送  
すばらしい未来を持つかけがえない子どものすこやかな成長を願ってテレビで勉強しましょう。

— 高知県知事選挙 —

## 11月9日告示・11月29日投票が予定

高知県知事選挙の投票日が11月29日に予定されています。選挙のたびに違反等の記事が掲載されますが、有権者の皆様は注意されて「明るい選挙」をめざしましょう。

あなたはどのタイプ?

馬路村選挙管理委員会



# ふじしよん

## 馬路敬老会 魚梁瀬

十五日は「敬老の日」。長い年月、社会に貢献してきたお年寄りの労をぬぎらい、長寿を祝う日です。

馬路村の敬老会は、祝日の十五日より一足早く、馬路で九月八日、魚梁瀬で十四日に各々、コミニティセンター馬路と魚梁

瀬公民館で行われました。

馬路地区の該当者（満七十歳以上）は百四十二人、出席は九十三人、魚梁瀬地区三十六人中二十二人の出席で、式典のあと、保育園児や小学生、婦人会員等の踊りや歌などで、一日を歓談されました。

本村の最高齢者は九十八歳の小松ヤクさんです。

日本人の平均寿命は昨年、男性が七十五・二三歳で、女性が八十・九三歳となり、人生八十年時代が本格化しています。

高知県は、沖縄県に次いで、第二位の長寿者県となっています。

ますますお元気で、充実した老後を送るための指針として、松下幸之助さんの「青春」という詩を紹介します。

### 青春

青春とは心の若さである  
信念と希望にあふれ  
勇気にみちて日に新たな  
活動をつづけるかぎり  
青春は  
永遠にその人のものである。

## お年寄り向け

### 何でも相談

馬路村社会福祉協議会では、いろいろな悩みごと、心配ごと、よろず相談を受ける「心配ごと相談所」を置いて、気軽にご利用してもらっています。この度、県社会福祉協議会に次のとおり高齢者向けの相談所が開設されました。

一 高齢者とその家族の抱える福祉、保健、医療などの日常生活上の悩みごと、心配ごとの相談に際するため、九月一日から高知市本町四丁目目県社会福祉センターに高齢者総合相談センターが開設され電話、面接のほか手紙でも相談に応じています。（電話〇八八八七五〇一〇）

二 お受けする相談は、(一)日常生活上の心配ごと悩みごと。(二)病氣、法律、年金、老人介護。(三)福祉の制度及び施設、車椅子などの福祉機器。(四)その他、どんな問題でも気軽に相談できます。

三 相談の日時 (一)平日は午前九・〇〇～午後七・〇〇、土曜は午前九・〇〇～午後三・〇〇(日曜・祝祭日は休みです)

連絡先 役場住民課 福祉係  
電話 四一二一一

## 郵便局

### だより

贈りものにぴったり

「ふるさと小包」

うまじの香り「ゆず」を送りましょう。

馬路・魚梁瀬両郵便局に、一升ビンを送送するための、ゆうパックを準備しています。無料で差し上げますので「ゆず」を送る場合には、ぜひご利用ください。

また、郵便局の窓口には、全国各地の特産品のカタログを備えています。お気に入り

## 中芸消防大会

### 馬路村消防団 総合第二位

恒例の中芸消防大会が、八月二日、村民運動場において中芸五力町村消防団員、中芸消防署員、来賓多数の参加のもとに盛大に行われました。

大会は組合長のあいさつに続き、組合表彰、来賓祝辞、服装、機械器具点検、分列行進のあと、営林事務所貯木場において、玉割り、水入れ競技が行われ、村消防団は、総合で第二位となりました。



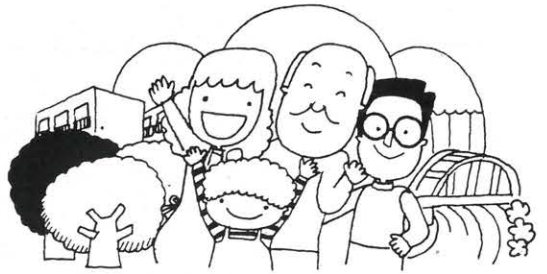
午後から親善ソフトボール大会が行われ、団員相互の親睦を深めました。  
← 始業点検

賞品引換期間 昭和62年 9月21日 ▶ 昭和63年 3月22日

A賞	ワードプロセッサ	219992
		776444
B賞	ピクニックセット	下4けた 9777
		7641
		下4けた 8212
		下4けた 2354
		下4けた 0487
C賞	「ふみの日」 小型切手シート	下2けた 17
		下2けた 27

の品物を取り寄せることも出来ますし、友人、知人あてに送ることも出来ます。  
「ふるさと小包」として、みなさんに好評です。合わせてご利用ください。  
暑中がき「かもめーる」  
当選番号

# つくるページ のひらば



## スキンシップ

### 親子体操教室

馬路 K.O

今年もまた、夏休み後半の五日間、親子で「親子体操教室」に参加することになりました。対象は、保育園児から小学校三年生までと、今年は今までに参加した子供たちもかまわないということで、たくさん親子が集まりました。

中には、「先生の言う事を聞きなさい」と子供に言い残して帰る親や、子供同志で元気に参加、といったように毎年変わらなし。

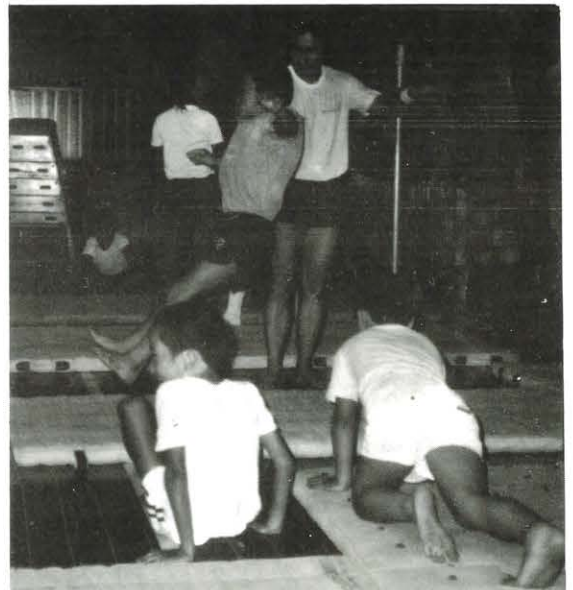
指導は、いつもの大坪先生と栗山先生、それから安芸体操クラブの方たちです。

最初は、音楽に合わせて柔軟体操からスタート。子供たちは、体育館狭しと駆け回ったり、先

生やおかあさんに背中を押されたり、足を広げられたりではや目に涙。自分も含めおとうさん方とは見れば、壁にもたれたままで、子供はすべて先生任せ。十分体がほぐれると、続いてマット運動です。園児コースと小学生コースにわかれ、前転・後転にと親子で汗を流しました。

マット運動が終わると、小学生は鉄棒、園児たちは楽しい楽しいトランポリンです。交替の時間もわすれて、一向に降りようとしません。

「口をあけたら舌をかむ」の注意を受けても、すぐ口元がほころびます。心配そうな親を横目に子供たちは元氣そのものです。つつい時間過ぎる



↑小学生コース・着地成功

のむすれ見入ってしまいました。

最終日には、ビデオ撮影です。「ハイ、〇〇生、〇〇デス」と元氣いっぱい、ちょっとはにかみながらの演技に大きな拍手。ビデオ試写会後「おもしろかった」「先生、来年もきてね」等子供たち。私たちも子供が喜んで参加するので、できるかぎり継続してもらいたいと言うことで意見が一致しました。

今年の体操教室の修了証は、杉で作ったメダルでした。

両先生に、五回連続参加の子供たちから順番に首へ掛けてもらい「来年も必ずこようね」と約束しました。

本当にご苦労さまでした。

馬路・魚梁瀬  
俳句会

百合子  
蜘蛛の罫の片方切らし梅少し  
身のほどを知り炎天に球を打つ  
ちづ子  
愛犬と打ち上げ花火家で見ると  
数珠につく二代の指紋盆供養  
善心  
風鈴が鳴りやまぬ日の仏の眼  
句につまり黙々と行く萩の道  
清子  
早期の涼風受けて寺に入る  
青柿の打つま夜中のトタン屋根  
喜美栄  
思い出の生家の造りながれ星  
ぬけ殻が両手に余る秋の蟬  
うた子  
古い忘れ今年も好きな盆踊り  
夕涼み園児の芸に暑さ去る  
晝  
月光の裏にも虫の鳴けるなり  
炎天や身一つに生き鎌を研ぐ  
麗山子  
神木を叩き炎昼の値ぶみかな  
神木を売る相談や雲の峰  
雅子  
炎天に女と女立ち話  
玉葱の一ヶ落つ音今朝の秋  
♣ ♣ ♣  
俳句教室は、毎月一回、日浦  
会館で開催しています。



# みんなで 村民

←真剣に考えているのかな？



ふれあいさわやか

親子で追跡・

カレーライスハイキング



馬路 山中 芳

六月二十八日、馬路のジंक  
スをくつ返すようなお天気、  
親子ともども朝起きるとすぐ  
外をながめ、今日はできるねと  
にっこり顔を見合わせた。一度  
雨のため流れてしまったので、  
今日の天気はひとしお気にかか  
りました。

午前八時前に、うれしそうな  
子供たちの水筒姿にせかされ、  
コミュニティセンター馬路前の  
駐車場へ集合しました。

総勢四十人（大人十九人・子  
供二十一）六班に分かれてそ  
れぞれ班ごとに出発進行。子供  
のころから、登りはじめて何十  
年の年月、三宝山からのながめ  
は、馬路村の移り変わりのさま  
ざまを思い出さします。思い出  
にひたるのもつかのま、最初の  
関門です。

「班長先行」のサインがあり  
ました。途中でサインの見落と  
しがあったのか登ること数分、  
いやはや第一関門がないじゃな  
い。また下へ降りて最初から。

やっとたどりついた第一関門  
は、村内クイズでした。村の面  
積は、村鳥は等々……。親子の  
必死の努力も無なく、時間に  
追われて次の関門へと出発しま  
した。

我が班の強力なメンバーが、  
汗をふきふき階段を降りてきま  
した。

「どうしたの」と私。  
「階段は何段かって」と子供  
たち。どうやら上には、第二関  
門があったらしい。やれやれ、  
右へならえ。班長以下、いい汗  
ですわ。

無事？第一、第二関門を突破。  
途中、草花を見たり、葉を取っ  
て張る作業をしながら、やっと  
登りつめました。

頂上では、栗林さんが何やら  
「キムスゲーム」と書いてある  
箱を持っている。さては、記憶  
ゲームだな。なるほど作戦は良  
かったのだが、「ハガキ、ライ  
ター、ボールペン……」「はい  
そこまで」「ああ、十六ぐら

できているかなあ」とがっ  
くり。気落ちすることなく  
次へ行こう。

「一人先行」「クサカン  
ムリの字10書くこと」「さ  
あ、みんなで知恵をしぼる  
こと。何字できた？」後を  
班長にたのみ出発。しかし、  
少しハプニングがあったよ  
うで、班長を待つロスタイ  
ムが二分ぐらいいりました。

やがて、道の真ん中に柚子  
の木がある私の好きな場所。  
「ここは、ちょっと目を向  
けてください。下の苔きれ  
いですよ。」と話していると、

「柚子の木の周りは何cm」  
ハテ、指を広げて計ること  
三回。「やはり一メートル  
ぐらいあるねえ」として、  
いよいよ最後です。

「ハイ・イエエ、子供への問  
題」さあ全部終わった帰ろう。  
後からくる班に、「走られん。  
追いぬかれん」と、にぎやかに。  
待ちに待った、お米、お肉、  
野菜、すいかを成績順に取る番  
です。子どもが一番心配してい  
た、「肉なしカレーはいやや」  
の瀬戸際。

ユニークな判断と評価により、  
幸いにも各班へ公平に材料も回  
り、飯ごう片手に河原へ、初め  
ての飯ごう炊飯へのチャレンジ  
です。学生時代を思い出しまし  
たら、さあ、お肉をいたためて野菜

←カレーライスの味は最高！



をいたためて、ごはんはこれでい  
いのかなあ……。小松先生の適  
切なアドバイスと共に、やがて  
おいしくごはんもたけて、みん  
なで食べたカレーライス。どこ  
かハタイムスリップしたような  
楽しいひとときを、過ごさせて  
いただきました。

岡林先生始め、教育委員会の  
方々のご苦勞に感謝しながら、  
今日得たものを、これから先子  
供たちと共に、良い家庭づくり  
に、社会生活にと役立てること  
ができれば、参加した意義があ  
るのではと思います。心よい汗  
を、ありがとうございました。



# 家族で話し合おう

図解

# 交通安全

バイクの事故で一番多いのが、交差点での出会いがしらの事故です。事故原因のほとんどは、見通しの悪い交差点でバイクが一時停止や徐行などをせずに飛び出してしまうことです。

住宅街などのように道幅の同じような道路が交差する場所で、見通しのきかないところは、とくに危険区域となっています。このような所には「止まれ」や「徐行」の標識が立ててあり、ライダーに注意をうながしています。

ライダーの皆さん、見通しの悪い交差点では標識がなくても徐行したり、一時停止をして安全を確かめる用心深さを、ぜひ身につけてください。それが、あなたを事故から守ることにつながるからです。

見通しの悪い交差点

用心深さが身を守る



←小石川にてキジの放鳥

今年、四月一日付けで、高知県からの任命により、公文和市さんが鳥獣保護員として、鳥獣保護並びに狩猟の指導を行うことになりました。

また、鳥獣保護事業のひとつとして、現在休猟区の小石川と谷山にそれぞれキジを、三十羽ずつ放鳥しました。

がんばっています

新鳥獣保護員に  
公文和市さん

氏名	性別	年令	死亡年月日	世帯主	続柄	部
木下 由	女	76	62・9・1	雄幸	養母	東川
清岡 繁美	女	78	62・8・23	修雄	養母	影
杉東 達樹	男	77	62・7・23	達樹	本人	魚梁瀬
吉松 正	男	55	62・7・21	正	本人	日浦
山崎 廣美	男	66	62・7・19	廣美	本人	魚梁瀬
小松 孝道	男	50	62・7・6	孝道	本人	東川
比奈岡清水	男	85	62・7・1	清水	本人	魚梁瀬
岡田 美芳	女	89	62・6・15	改田登志男妻の母	本人	魚梁瀬
門田 整	男	80	62・6・12	整	本人	魚梁瀬
西山 廣美	女	68	62・5・18	弥吉	妻	日浦
氏名	性別	年令	死亡年月日	世帯主	続柄	部
父	母	赤ちゃん	続柄	生年月日	部	落
小松 博章	敦子	里緒	長女	62・5・8	魚梁瀬	
島田 朝彰	智香	奈美	二女	62・5・14	影	
田中 正義	久美	汐	長女	62・5・30	影	
市川 浩司	壽美	賢	二男	62・6・19	魚梁瀬	
井上 博俊	典子	仁	長男	62・8・28	日浦	
平山 秀二	久美子	唯	長女	62・9・10	影	

ごめい福をお祈りします

ご出生おめでとうございます

## 魚梁瀬 盆の総会から

### 冠婚葬祭について

- 一、祝儀 五,000円以内
  - 一、不祝儀 三,000円以内
  - 一、御見舞 お返しは止める
- その他については従来どおりです。